作業2日目

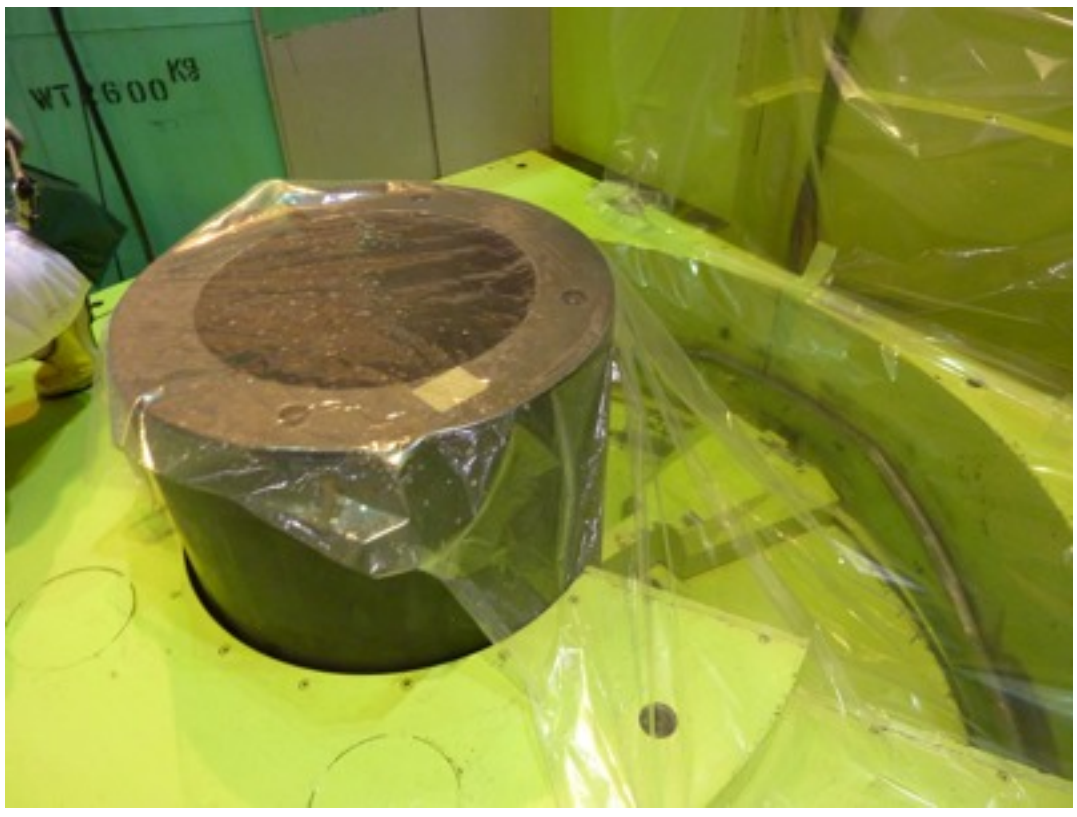
日付 : 2011年05月31日

作業場所 : JRR3, 4G(GPTAS)

作業者 : (佐藤研) 佐藤、南部、山崎、三田

(物性研) 川村、浅見、杉浦

(穂積) 鉄、丹治

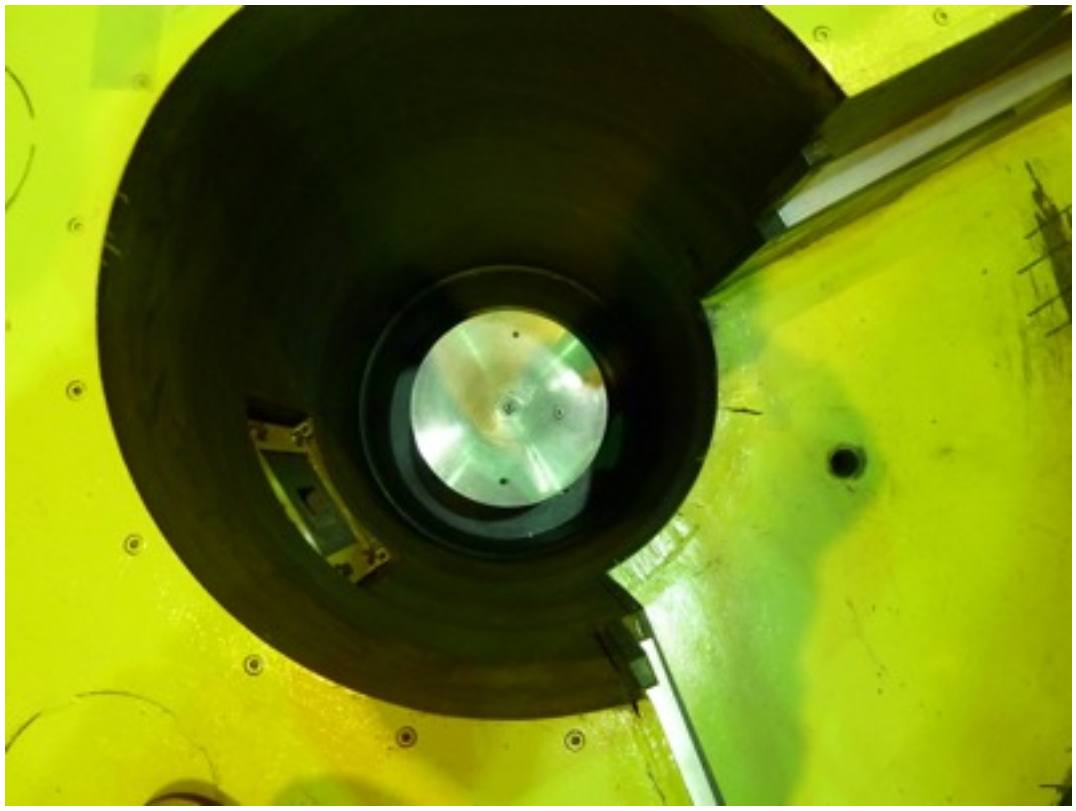


入射ビーム遮蔽体の取り外し。

鉛ドラム遮蔽体部分の取り外し。

鉛ドラム遮蔽体と下部遮蔽体の位置関係。

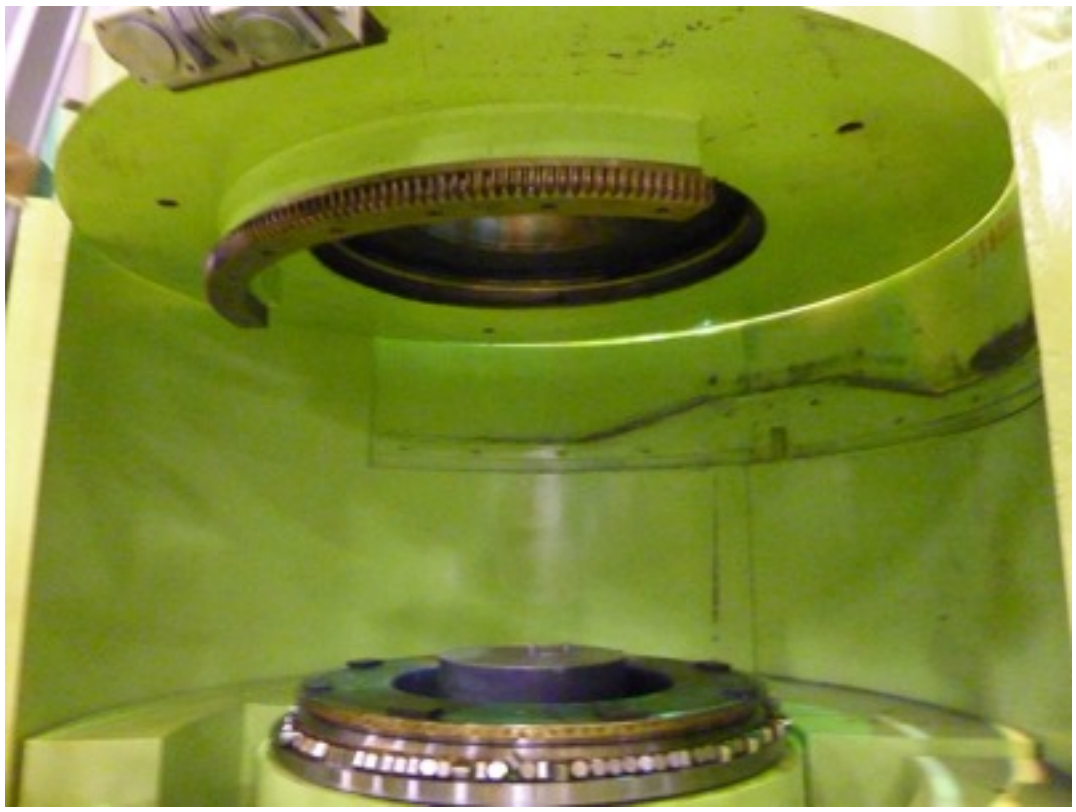
鉛ドラム遮蔽体の取り外し。



モノクロドラム部分の取り外し後。

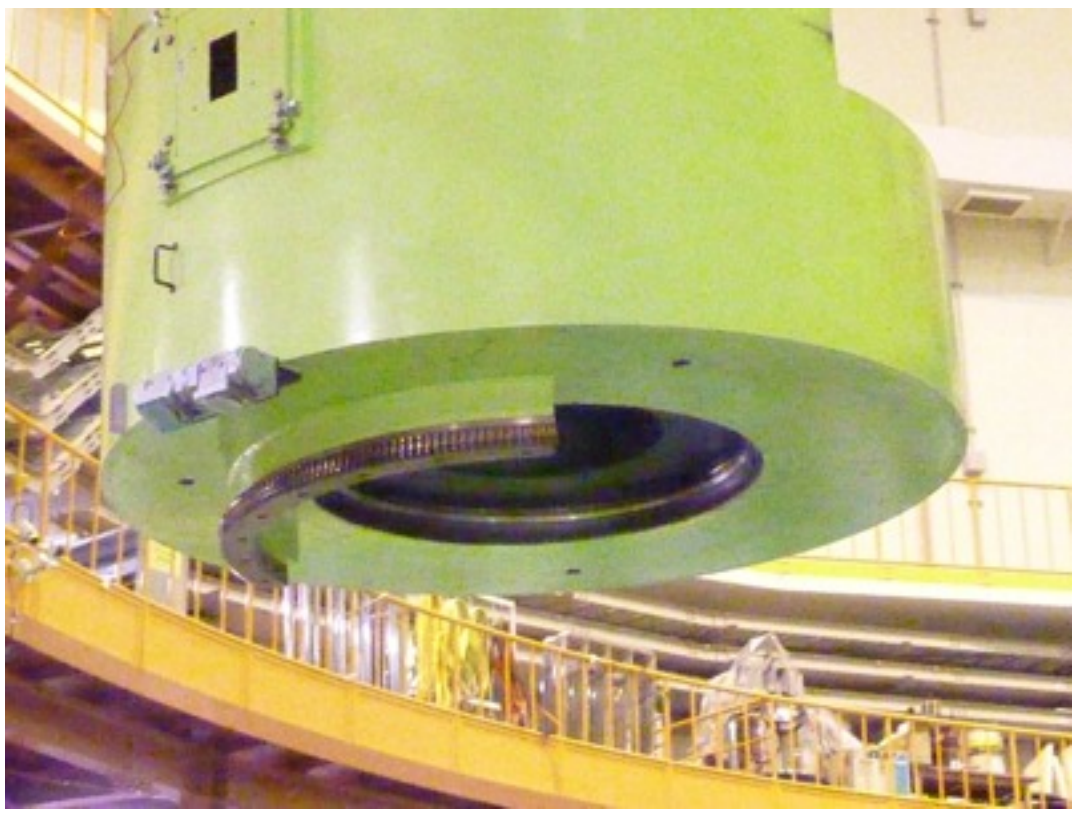
下部遮蔽体取り外し。

下部遮蔽体を持ち上げた時。



下部遮蔽体を持ち上げた時。

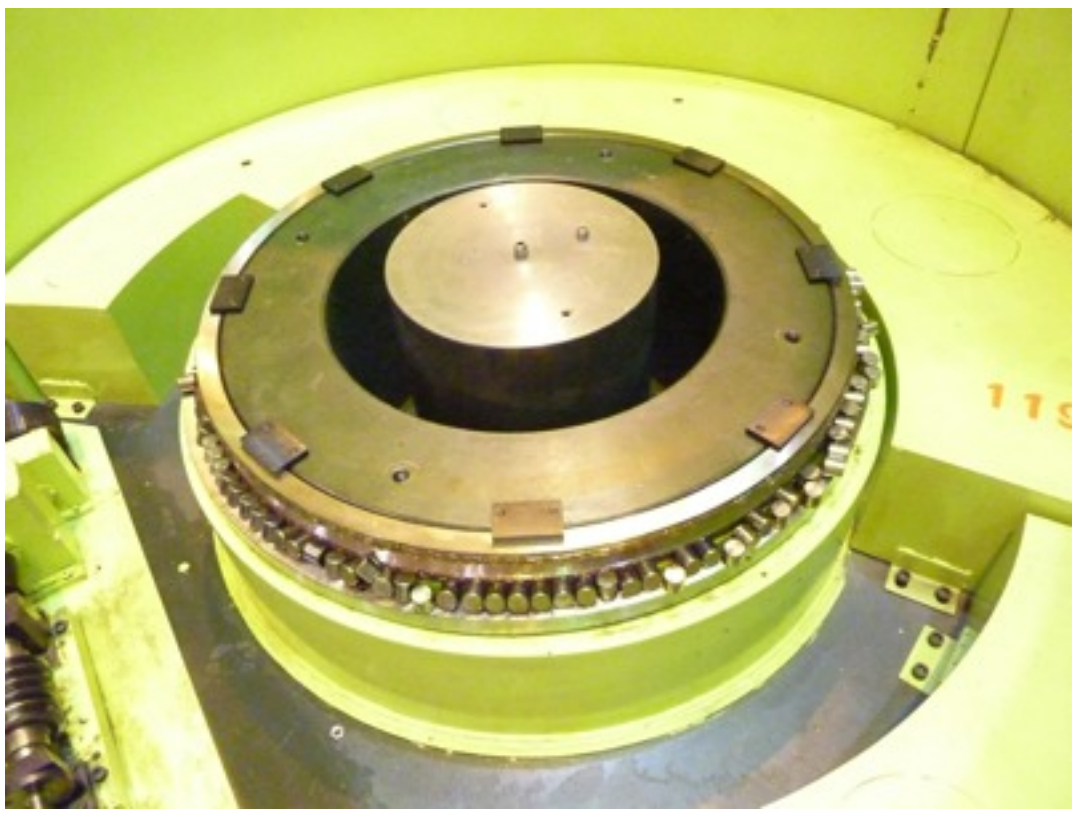
下部遮蔽体取り外し。



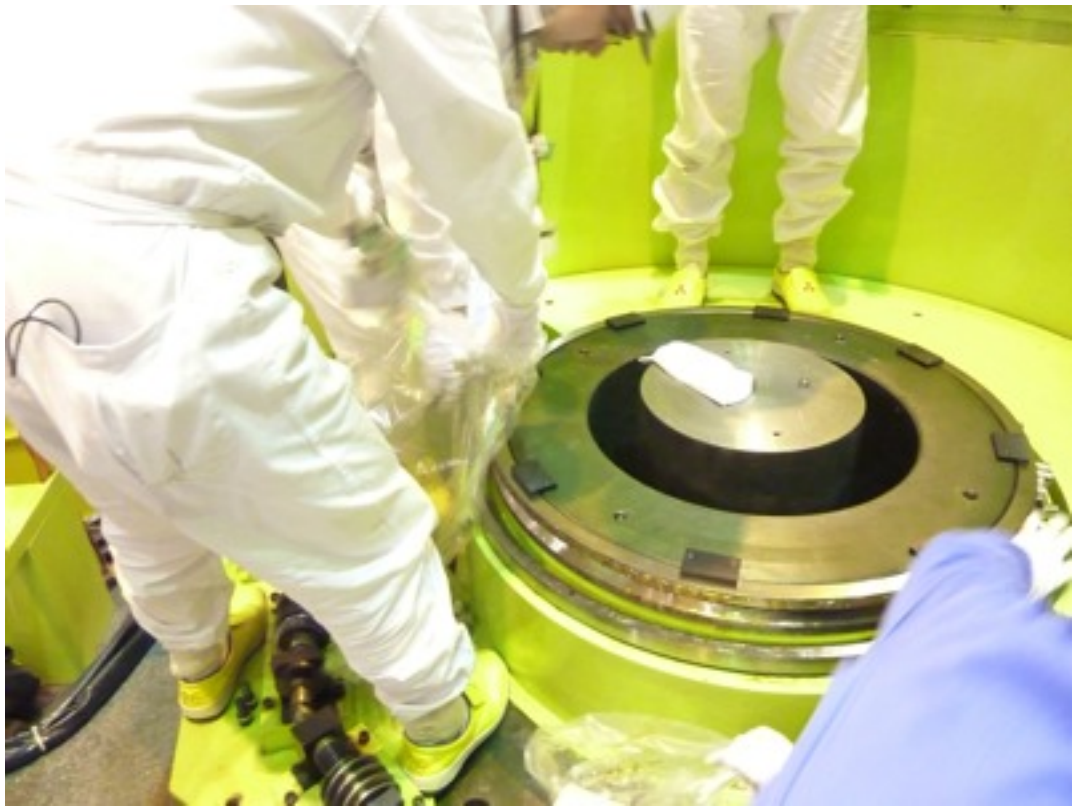
下部遮蔽体を下から見たとき。

下部遮蔽体を6Gのところへ
一時的に運ぶ。

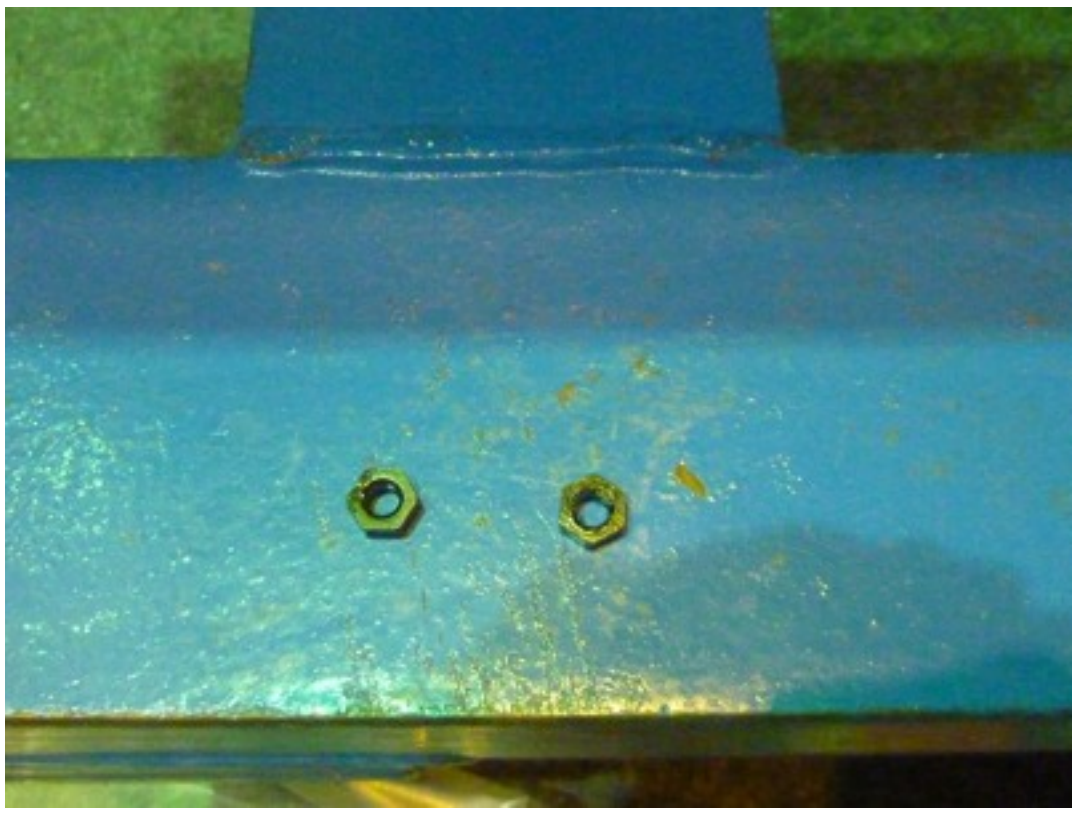
下部遮蔽体を6Gのところへ置く時
下に角材を敷き、その上に置いた。



露出したベアリング部の様子：
ローラーベアリングを支える上下の
リングが分離していた。
縦・横と交互に配列しているべき
ローラーベアリングが乱雑に並んだ
状態になっている様子が伺える。
これが本修復作業における
主たる修復部分と考えられる



ローラーベアリングの取り外し。



ローラーベアリングを挟むリングを止めるねじのナット。
これが床に落ちていたので、このナットのゆるみ(抜け落ち)が上下リング分離の原因であろう。

ローラーベアリングを挟むリングの上側が下部遮蔽体の下にくっついていたので、浅見氏が下部遮蔽体の穴に入りトンカチで外す。

ローラーベアリングを挟むリングの上側が下部遮蔽体の下にくっついていたので、浅見氏が下部遮蔽体の穴に入りトンカチで外す。

下部遮蔽体の下にくっついていたローラーベアリングを挟むリングの上側が外れた。

くっついていたローラーベアリングを挟むリングの上側が外れた後の下部遮蔽体の下側。

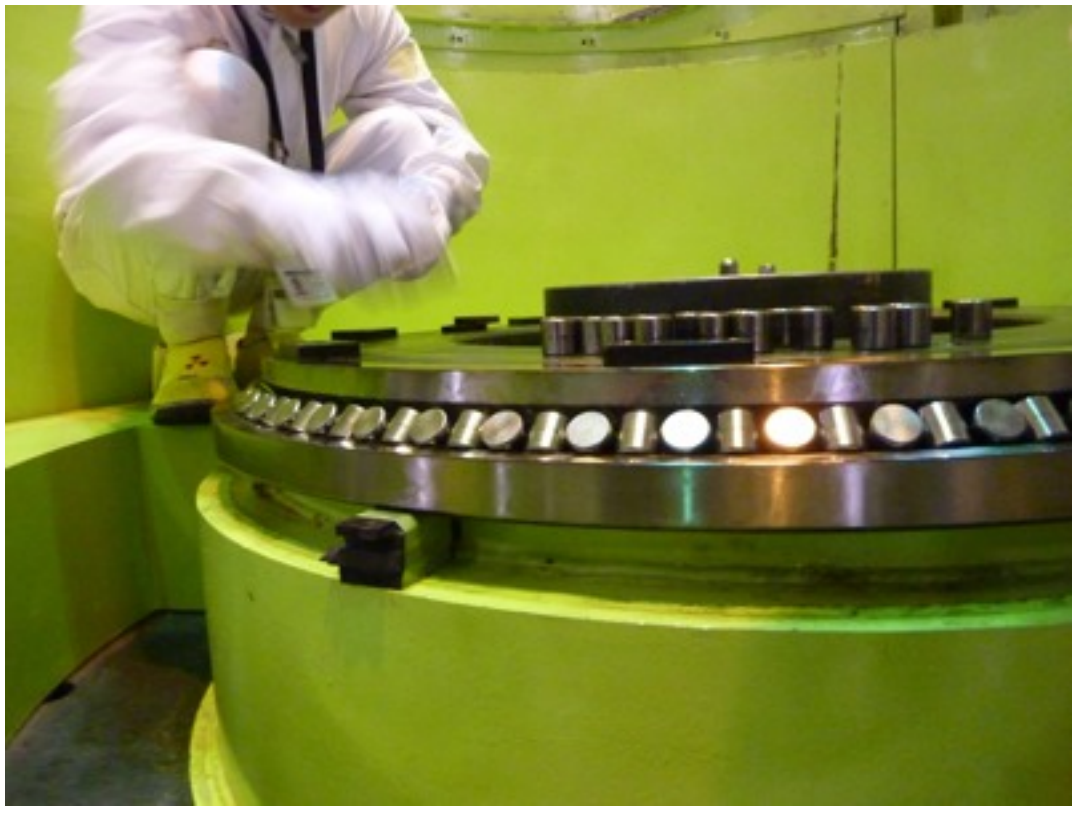
下部遮蔽体の下にくっついていた
ローラーベアリングを挟むリングの
上側。

ローラーベアリングを挟むリング同
士を止めるネジ。

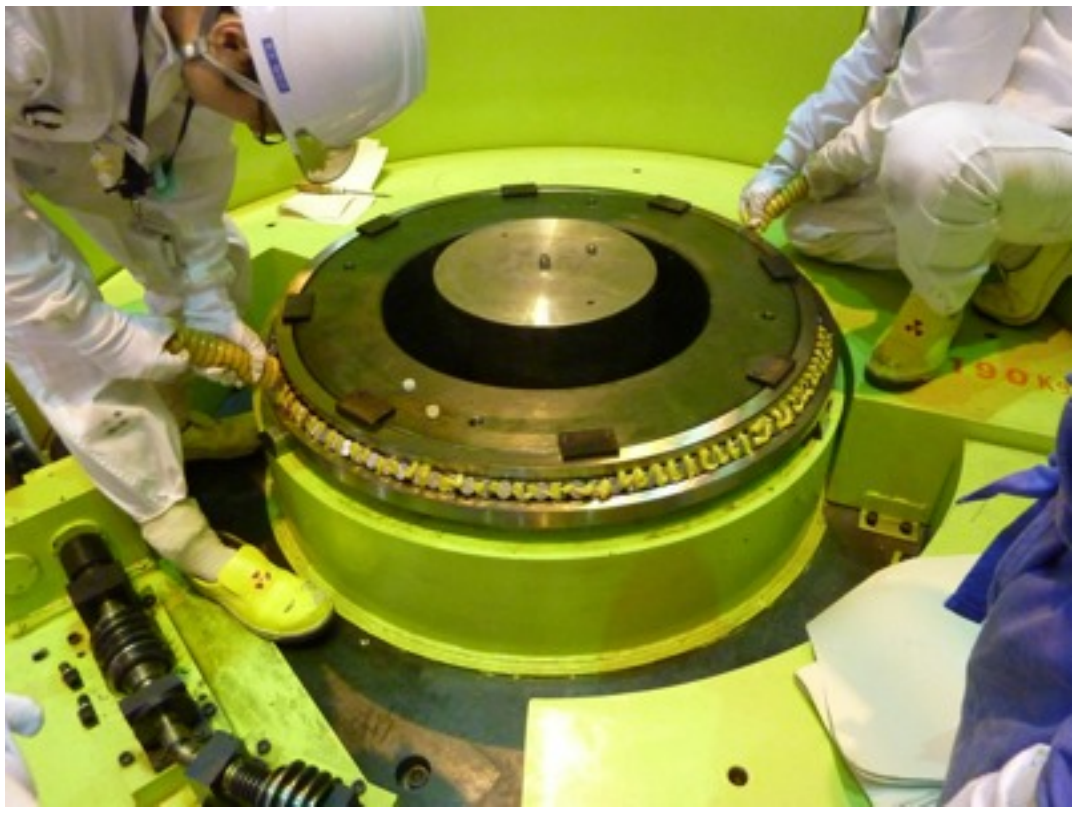
台と水平器。
台は傾いていない事が確認できた。

ベアリングの清掃。
古いグリスを拭き取った。

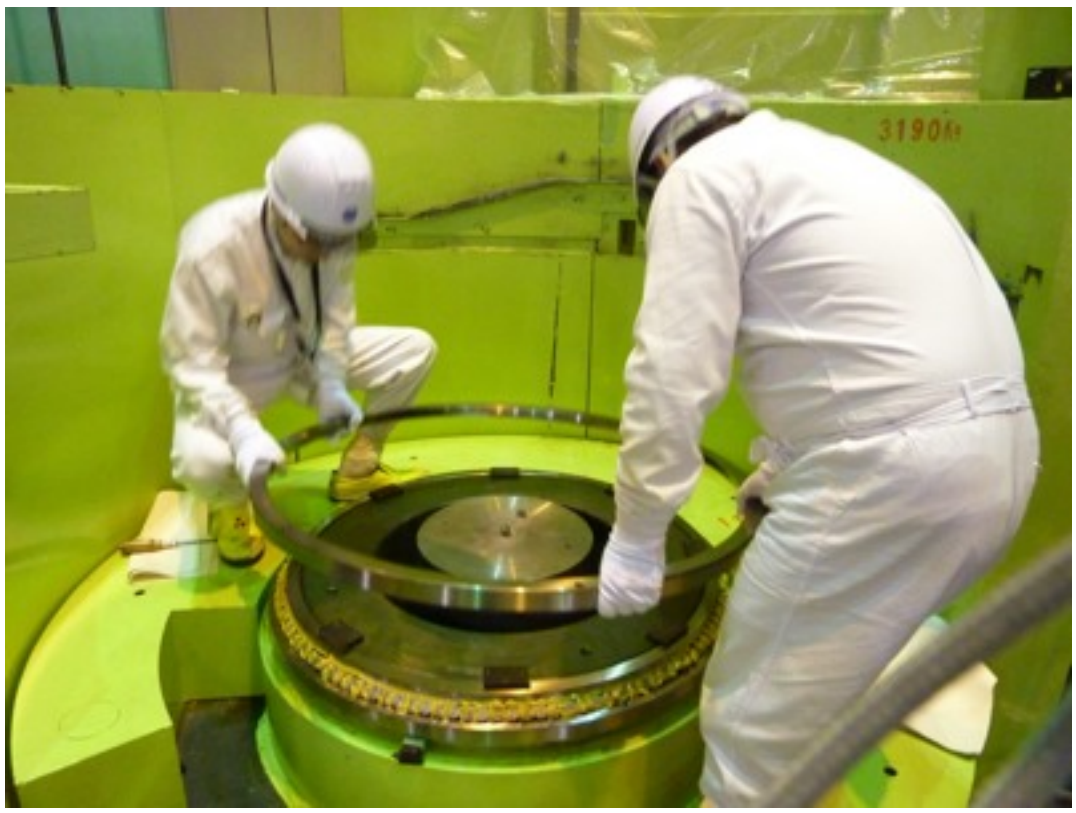
台に付いた古いグリスの清掃。



ローラーベアリングを挟む下部リングの下にゴムで作ったスペーサーをはさみ、その上にローラーベアリングを並べた。



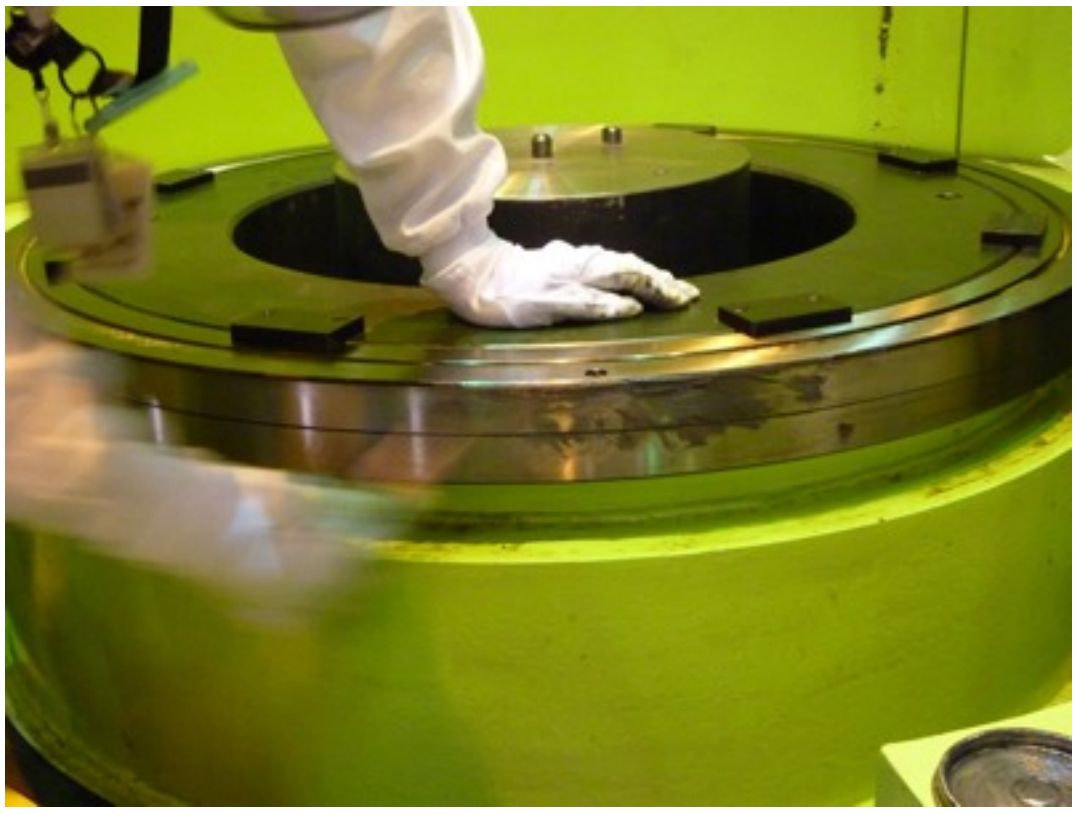
ローラーベアリングを並べ終えた後、リチウムグリスを塗り付けた。



ローラーベアリングをリングで挟んでいる様子。

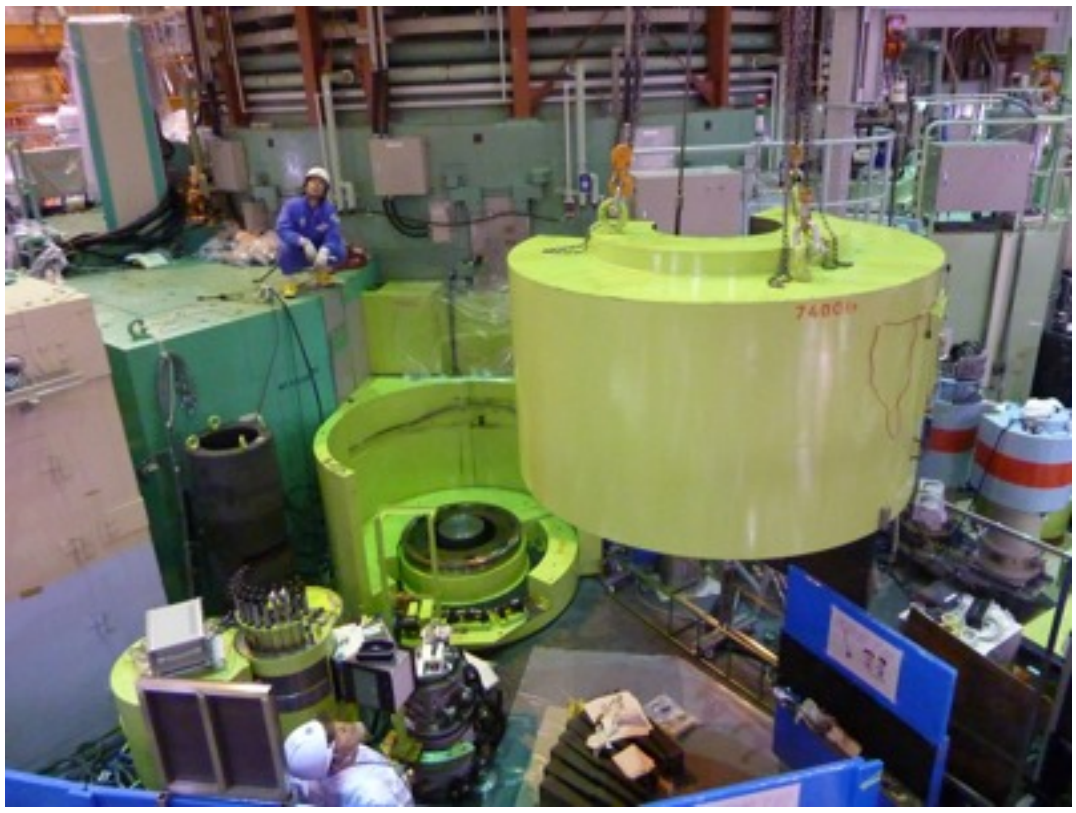
ネジ止め。
補助者が下のリングを持ち上げる。

上下のリングがきっちり重なるよう
トンカチで叩きながら微調整。
その後、増し締めして固定。



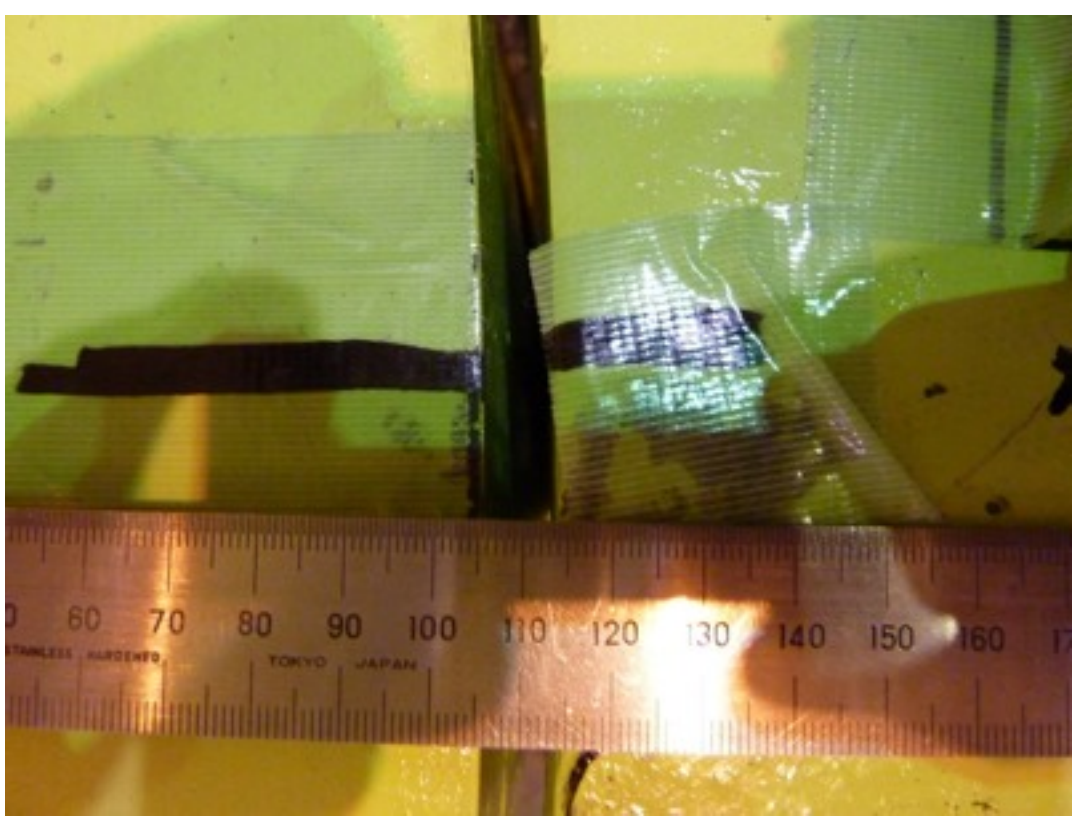
側面部にはモリブデングリスを
塗った。

下部遮蔽体の下側の掃除。



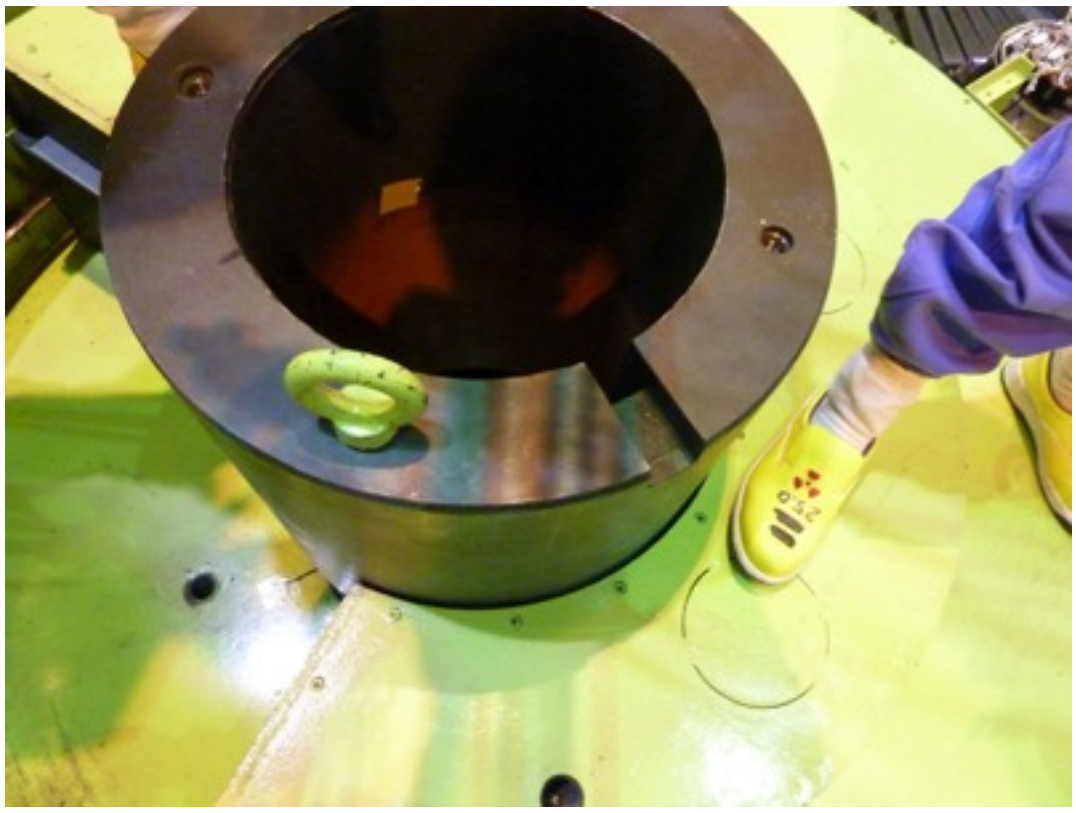
組み立て作業開始。
下部遮蔽体の取り付け。

固定遮蔽体と下部遮蔽体の隙間は5mm程度であり、川村氏のクレーン操作に委ねられた。

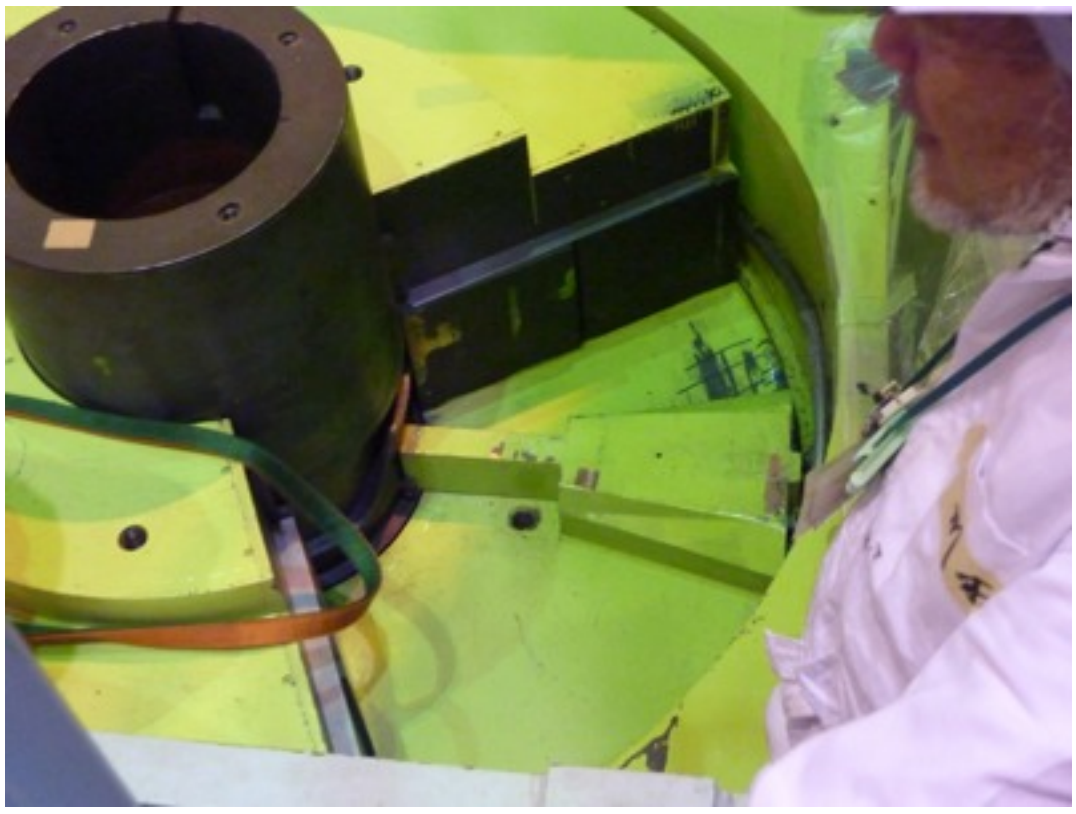


下部遮蔽体は元の位置にスムーズに取り付けられた。
下部遮蔽体はスムーズになった。

鉛ドラム遮蔽体の取り付け。



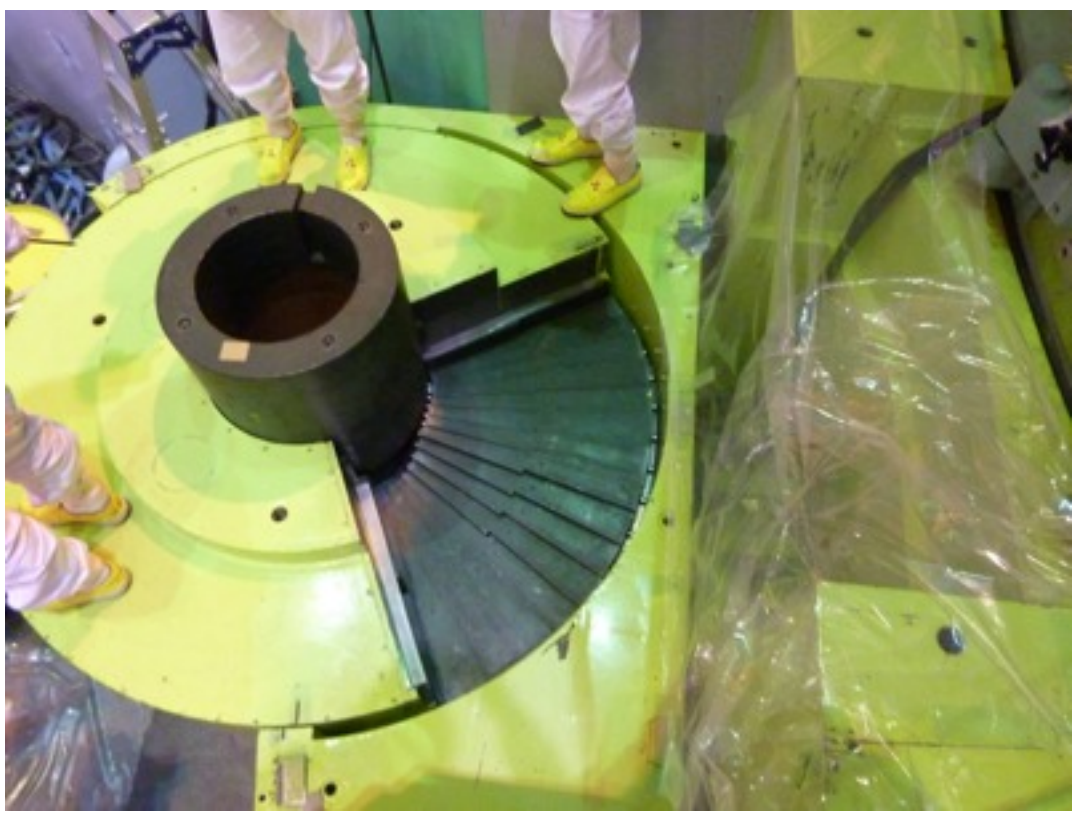
鉛ドラム遮蔽体は下部遮蔽体と隙間なく設置できた。



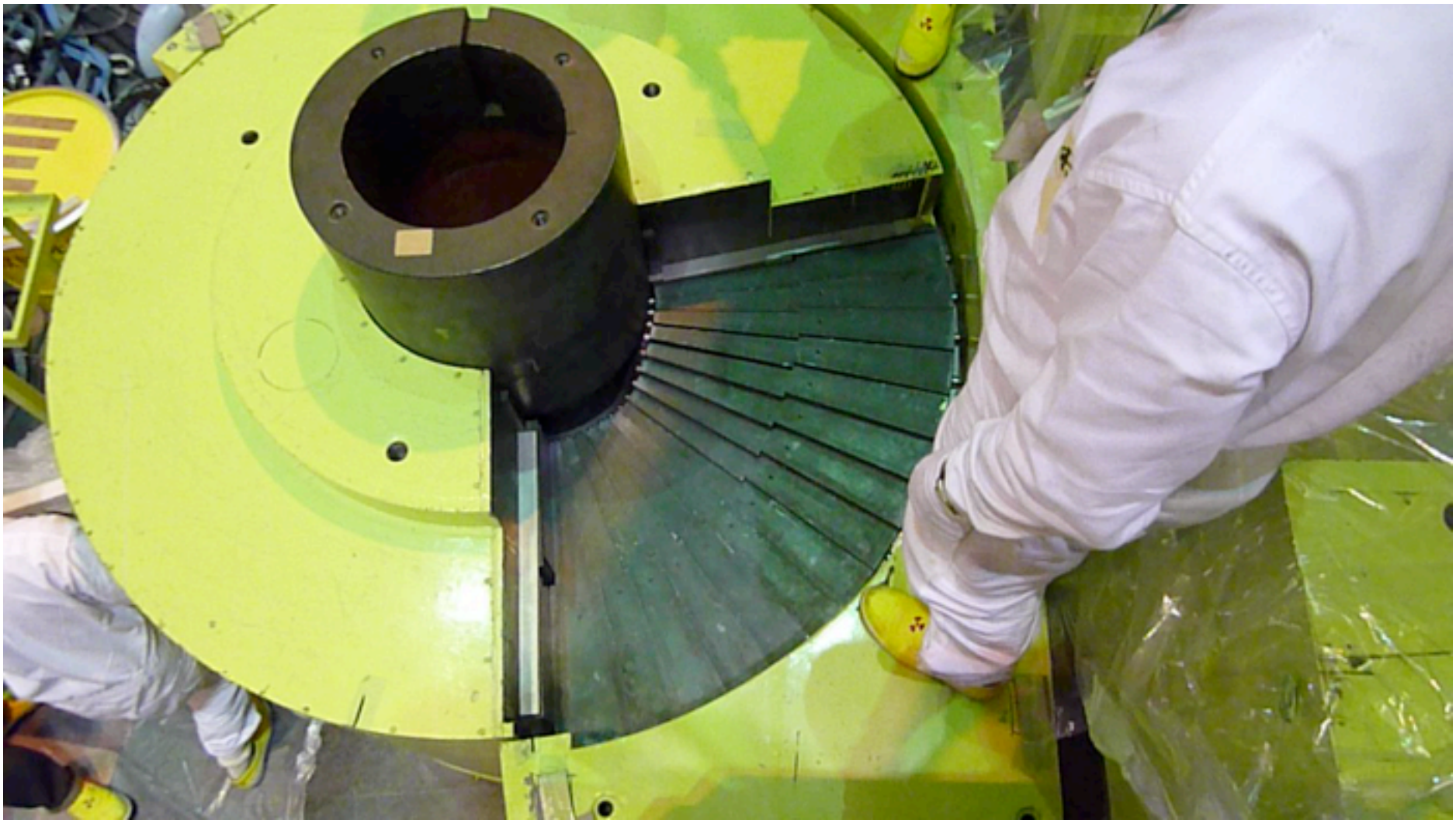
入射ビーム遮蔽体の取り付け。

セクターの取り付け。

セクターの取り付け。
最後は足で踏み、はめ込んだ。



セクターの取り付け完了。
回転遮蔽体の動きはスムーズであった。



回転遮蔽体が動く様子

ギシギシと音がなり、重くなる箇所がある